



6/2 防災リーダー育成をめざして

自主防災組織の活性化と人材の育成を目的に「自主防災リーダー育成研修会」が御荘文化センターで開催され、町内の自主防災会長が参加しました。

研修会では、講師の大木聖子さん（慶應義塾大学環境情報学部准教授）が「1分揺れたら南海地震です。すぐに逃げてください。3分揺れたら指定されている避難場所よりも高い所に避難してください。と言うことを自主防災リーダーは理解しておいてください」などと参加者に訴えました。



6/11 ワクワク体験教室

山出憩いの里温泉周辺で「第1回 ワクワク体験教室～自分で火を起こそう～」が開催されました。初回となる今回は、町内の小学4、5、6年生13名が参加し、マイギリを使って起こした火で、お昼ごはんにかレーを作って食べました。二人一組で息を合わせてマイギリを動かし続けるのは一苦労だったようですが、燻っていた種火が新聞紙に燃え広がると、会場から「おおっ！」と歓声が挙がりました。

参加した子どもたちは「難しかった!」「昔の人は火を起こすのがとても大変だったのだと分かった。」「でも、楽しかった!」と口ぐちに話していました。

ワクワク体験教室は、今後も色々な内容を変えて、年間10回程度開催される予定です。

あんなことや、 こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.68
「夏のおしゃれは、フリルで決まり!」



つぶらな腫のミスガイ

ファッションには疎いのだが、近ごろ女性の間でフリルが流行しているらしい。そうすると、海のベスト・ドレッサーはミスガイに決まりだろう。

体長8cm程で今の時期によく見られる。青みがかった美しいフリルが特徴なのだが、何のためにあるのか分かっていない。また、申し訳程度に付いている、つぶらな腫が何ともかわいい。この目は、ほとんど見えず、光を感じる程度らしい。砂浜で貝殻を拾ったことがあるが、薄くて割れやすく、なんだかたよりなかった。この貝殻の模様が御簾(すだれ)に見えるからミスガイという名前が付いている。

名前にカイが付いているし、背中に貝殻を背負っているのだから、貝のように見えるが、実はウミウシの仲間である。どうやらミスガイは、貝からウミウシへと進化している途中のようだ。

人間は美しく見せるためにフリルを身にまとうが、ミスガイのフリルにはどのような役割があるのだろうか。自然は本当に謎だらけである。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照^{ともてる}